

石川県安全運転研修所の平成29年度管理状況

施設所管課	石川県警察本部交通部運転免許課
施設管理者	(一財)石川県交通安全協会 会長 加藤 敏彦
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
中期経営目標 (H27～H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数を3年間で3%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<p>サービス向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修課長が毎月1回、全職員に利用者に対する親切、丁寧な対応について教養を実施 ・ 利用者の利便性向上を目的に、朝の開所時間を1時間30分早めた午前7時30分としています。 ・ 研修終了時に実施している「安全運転診断シート」に基づく指導を一括集合方式から個別アドバイス方式に変更、また「安全運転診断シート」を理解しやすいよう改めたことにより、より細かな指導を可能としています。 <p>利用促進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土・日曜の利用者の要望に対応するため、定休日を毎週水曜日としています。 ・ 高齢者に対する助成制度を紹介し、高齢者の利用促進を図っています。 ・ 女性利用者の増加を図るため、女性指導員1名を養成
② 広報活動	<p>研修所に関する広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県交通安全協会のホームページに、免許の取得挑戦やコース別の研修内容を掲載 ・ 年間を通じ、交通安全キャンペーン・交通安全県民大会等の各種行事の開催時に「研修所利用案内」チラシを配布 ・ 石川県交通安全教会機関誌「こうつういしかわ」及び会員に発行している「安全運転便利帳」に研修所の利用案内を掲載し交付 ・ 報道機関の取材対応 北陸放送 「ほっと石川」の取材（スキッド体験） <p>関係機関等との連携による広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県安全運転管理者協議会と連携して広報を行い、加盟各社の新入社員等を対象とした研修を実施 ・ 石川県県民文化スポーツ局男女共同参画課の「女性県政学習バス」で研修所を見学していただきその長所等について広報を依頼 ・ 石川県農業機械研修所と連携して広報し、研修所生がチャレンジコースを利用

(2) 平成30年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>実践・体験型の研修を通じ、多様な交通環境に適用できる運転者を育成するという目的のもと、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「研修所の存在と研修内容の広報」 ・ 「関係機関・企業と連携した利用促進活動」 ・ 「利用者の要望を踏まえた魅力ある施設、設備及び研修内容の改善活動」 <p>により施設の利用を促進し、利用者数が前年度を上回るよう努力します。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H25年度 (基準値)	H27年度	H28年度	H29年度	前年度比	基準値比	H29年度 (目標値)
(1) 利用者数(人)	5,433	5,480	4,837	4,576	▲5.4%	▲15.8%	5,595
(2) 貸館稼働率(%)					0	0	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス(%)	98.5	100.0	97.9	100.0	2.1ポイント	1.5ポイント	95.0
施設の維持管理(%)	99.2	100.0	100.0	98.2	▲1.8ポイント	▲1.0ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	会社の社員研修としてのリフレッシュコースでの利用の減少及び上位免許取得を目指すチャレンジコースでの利用が大幅に減少したことに伴い、総利用者が減少した。	会社の社員研修としてのリフレッシュコースでの利用の減少及び上位免許取得を目指すチャレンジコースでの利用が大幅に減少したことに伴い、総利用者が減少した。
貸館稼働率		

<利用者アンケート結果(平成29年度実施 有効回答数 利用者サービス55件 施設維持管理54件)>

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス(%)	80.0	20.0		
施設の維持管理(%)	85.2	13.0	1.8	

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	毎日実施（業者に年間契約で委託）
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・電気 自家用電気工作物の保安全管理業務 隔月 1 回 （業者に年間契約で委託） ・施設 石川県安全運転研修所設備点検等業務 毎月 1 回 （業者に年間契約で委託）
(3) 植栽維持管理	職員が年間を通じ随時実施
(4) 警備	なし
(5) 小規模修繕	なし

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態発生時の対処要領に基づき対応 ・職員教育の開催（毎月 1 回）
(2) 個人情報の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・申込書、教習原簿等は、研修課長が施錠できるキャビネットに保管 ・受付窓口に分離衝立を設置し、個人情報保護対策を講じている。 ・多人数の受付時は、部屋（研修室）で書類を記入後、個別で受付を実施

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
リフレッシュコース	5,676	0	
チャレンジコース	8,374	0	
貸コース	550	0	
原付講習	373	0	
合計	14,973	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料		人件費	13,876
利用料収入	14,973	光熱水費	1,343
その他		修繕費	0
		その他	2,323
合 計 ①	14,973	合 計 ②	17,542
収支差額 ①-②	▲ 2,569		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成29年9, 10, 12月	キャンセルがあれば連絡して欲しい	要望が多くその対応が難しいため、電話で確認していただくよう説明し理解を得ている。
平成29年9月 ～平成30年3月	もっと予約が取れるようにして欲しい	予約状況が刻々と変わることから、予約が取れる範囲や枠を設定することが難しいことを説明し理解を得ている。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応

8 その他報告事項など

<ul style="list-style-type: none"> ・ 降雪時のコース内除雪作業（随時実施） ・ コース内の草刈り、溝掃除等（随時実施）

9 評価結果

評価項目	評価	所見(工夫・改善点)
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	C	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート調査を実施し、意見や要望把握に努め施設運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ホームページへの掲載、交通安全キャンペーン時の研修所広報パンフレット配布等により、利用促進に努めている 開所時間を1時間30分早め午前7時30分とし、利用者の利便性向上を図り、利用促進に努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設内は清掃業者や職員により、常に清潔が保たれており、仕様書等に基づき管理の徹底を図っているほか、電気設備や施設設備についても保守委託することで適正な管理がなされている。 施設の設備については、老朽化が否めないところであるが、職員の日常点検等により、施設、設備の維持管理が保たれている。 各種備品については、台帳と現物照合を定期的実施するなど、適正な管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> 業務に関する教養研修・講習が定期的に十分行われている。 緊急事態発生時の管理・連絡体制は対処要領で定めており、あらゆる事態を想定した、招集や避難誘導の教養が職員全員になされているなど必要な安全対策が講じられている。 個人情報情報の適正管理を図るため、利用申込書、教習原簿を施錠できるキャビネットに保管しているほか、受付窓口に衝立を設置し、多人数の受付であっても、個人受付を行い個人情報情報の漏えい防止に努めるなど、適切な情報管理がなされている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的に即した管理運営がなされており、今後も実践・体験型の安全教育の専門的スキルを活用した研修内容や更なる利用促進への取組を期待します。

○ 評価基準

- A(優) : 仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B(良) : 仕様書等に定める水準を上回っている
- C(可) : 概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D(不可) : 仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A(優) : 優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B(良) : 優れた管理運営がなされている
- C(可) : 適正な管理運営がなされている
- D(不可) : 改善が必要である

10 助言・指摘事項

中期経営目標における利用者数の目標値実現に向けた取組に期待します。